

玉永寺通信

2012.9

第42号



北日本新聞社記者の取材を受け
8月1日の朝刊に掲載されました

初めてお泊り会を開きました

この夏、「お寺で泊まろう！ 玉永寺で疎開を体験」と題して、小学生のお泊り会を実施しました。地域の方々の協力をえて、家族全員がスタッフとなり、9人の子どもたちと楽しい時間を過ごすことができました。

今回は隣接する新興住宅地にチラシをまくという試みも行いました。地域を越えての参加があり、少子化によって維持が難しくなっている子ども会も、これで続けられるかもしれません。

東日本大震災を経て、少子化、過疎化と、右下がりの言葉ばかりを聞いていると、この世界はいったいどうなるのかという暗い気持ちになってしまいます。しかし、広く呼びかけていけば、次の世代の新たな人が応えてくれるという手ごたえをつかめたような気がします。

いかなる人もただ念仏によって救われていくという教えと、平和の大切さを、後世の人々へと伝えていく拠点として玉永寺を開放していきたいと思っています。

玉永寺しゃしん日誌

2月28日 初お講

休憩時間に桜木の尾崎さんの指導の下、体操をしている様子です。にぎやかなお講になりました。



4月3日 「爆弾低気圧」による風被害



本堂屋根、庫裏、式台の瓦を飛ばされ大きな被害を受けましたが、玉永寺維持費を充てて修復することができました。日頃の皆様からのご懇念に、心から感謝申し上げます。

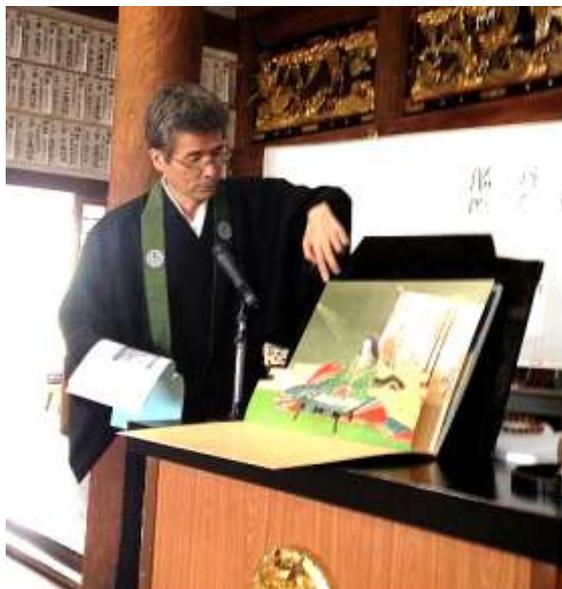
5月24日 本堂前に巨大な幹

ご近所の堀弘さんが、巨大な樺の幹を寄贈してくださいました。田中造園さんのご協力を得て、本堂正面の左前に設置しました。自然のエネルギーを感じます。皆さん、ぜひ見に来てください。



5月26日、27日 永代祠堂経法要

南砺市専念寺住職、平野正樹氏の法話を お聞きしました。飛び出す紙芝居を使った親鸞伝も、披露してくださいました。天候に恵まれ、参詣者も多かったです。



7月17日 玉永寺委員会

各地区の役員が集まり、昨年度事業及び決算を報告し、今年度事業及び予算を審議し、了承を得ました。今年度のご依頼について別紙に詳細があります。ご参照ください。

7月31日～8月1日 お泊り会 点描



右上 夕食のカレーライス

中上 正信偈のお勤め練習

左上 前坊守から戦争体験の話の聞く

右下 花火大会

中下 みんなで宿題をやりました

左下 蚊帳で就寝

こどもたちの感想文から

○赤い本を読んだ時、低いところと高いところがあったので、すこしおどろきました。きもだめしをしていました時、こわいのでいろいろな歌をうたいました。そうしたらこわくありませんでした。お泊りはうちのひととはなれても友だちがいるので楽しかったです。

○いちばんたのしかったのは、花火と鐘をついたことです。はじめて蚊帳で寝てすこいなと思いました。

○いまはすごく平和だけど昔はこんなことがあったことがわかりました。すごく楽しかったです。ごはんもおいしかったです。2日間すごくいい思い出ができました。

8月15日～16日 暁天講座

初日は「流転、退転、不退転」。

魚津市榮明寺住職、佐賀枝立先生。ロックンローラーから住職へと転身した経緯に、亡くなっていた家族の導きがあったことを話されました。

二日目は「愚者になりて」。

上市町圓常寺住職、柴田秀昭先生。自らを愚者として自覚することの大切さを、迫力をもって話されました。

今年もパンと牛乳をお配りしました。暑い中、早朝から二日間のご聴聞、まことにありがとうございました。

10月6日(土)～8日(月)

富山東別院報恩講

音楽法要・バザーなども催されます。詳しい日程は玉永寺までお問い合わせください。

7日には帰敬式(おかみそり)があります。この機会にぜひ法名をお受けしましょう。お申込み、お待ちしております。

10月20日 日中 午後1時半

10月21日 晨朝 午前10時

10月21日 日中 午後1時半

玉永寺 親鸞聖人に会う

報恩講

法話

魚津市常念寺住職 寺田正利氏
南砺市閨願寺住職 埴山法雄氏



県展で奨励賞を取られた柳瀬美智子さんの写真を展示します



編集後記

○前住職が出張お座に回っています。2時間ほどの法話、座談を一緒にします。5人以上集まればどこへでも伺いますので、どうぞ気軽に声をおかけください。左のテキストを使います。



一冊 500円です

○これから年末にかけて、皆様のお宅へ報恩講のお勤めに伺います。どうぞ、よろしくお願ひします。(住職)

玉永寺通信

発行所 富山市水橋小出五二

真宗大谷派玉永寺

TEL 076(478)0846

<http://www.gyokueiji.net/>